

Shoberl, Frederic (ed.). The world in miniature. 43 vols. London, R. Ackermann, 1821-1828. 14.3×9.0cm 382.08-w-1~43 (文献番号1-3)
Hiler p.796-7 Colas 2722-2723 Lipp.1580

1820年代にロンドンのアッカーマン社から刊行された「文庫本・世界」とでもいうべき全43巻のシリーズもの。編者のF. ショベールはロンドン生れの著述家で、多彩な活動をした編集者としても知られる。

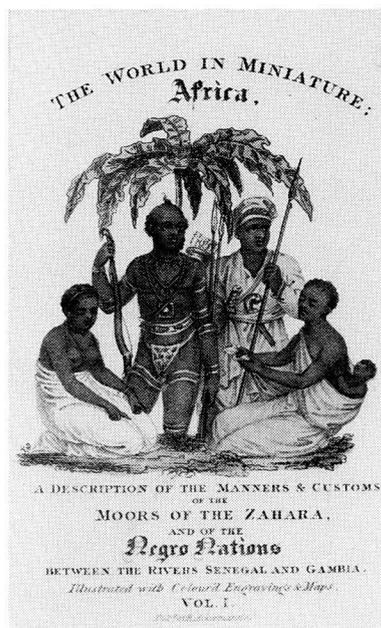
彼は、当時著名な出版業者ルドルフ・アッカーマン(Rudolph Ackermann)と交友関係があり、本館にも所蔵されている『芸術の宝庫』The repository of arts 1809~1828 <380.5-R>の編集にも携わっており、本書もアッカーマン社から刊行されている。

小型本ながら世界各地の民族・風俗・習慣・国民性・宗教・衣服などのすべてを盛りこもうとする広大な企画は、ナポレオン戦争に勝利し、名実ともに世界に君臨した大英帝国の勢いを思わせるが、その内容は、すでに刊行されてきた紀行書や探険記をショベールが再編集したものといえることができる。

全43巻は具体的には16の地域に区分され、刊年順に紹介すると以下のとおりである。

1. イタリアとダルマチア(2巻)
2. アフリカ(4巻)
3. トルコ(6巻)
4. ヒンドスタン(北インド)(6巻)
5. ペルシャ(3巻)
6. ロシア(4巻)
7. オーストリア(2巻)
8. 中国(2巻)
9. 日本(1巻)
10. オランダ(1巻)
11. 南洋諸島(2巻)
12. アジア諸島とオーストラリア(2巻)
13. チベット(1巻)
14. スペインとポルトガル(2巻)
15. イングランド・スコットランドとアイルランド(4巻)
16. スイス(1巻)

各巻とも衣服の章にはかなりの頁数が当てられており、それぞれ詳細に紹介されている。また色刷りの銅版画による民族服には、不正確なものがあるのも否めない。たとえば日本編の、56頁に描かれた図は日本の長崎役人であるが、髷と二本差以外は、羽織、袴、帯ともに不正確である。この日本編はケンペルの『日本誌』クルゼンシュテルンの『日本紀行』や長崎のオランダ商館からの報告などに依っている。



アフリカ篇 第1巻の扉